

第13回がん患者大集会

2017年11月26日 東京医科歯科大学M&Dタワー

第13回がん患者大集会 アピール文

●厚生労働省へ

1. がんの治療に関して
 - (1) 「がんの治療を目指して」
 - (2) 「地域格差の解消」
2. 拠点病院に関して
3. 支援について
 - (1) 小児がん経験者とAYA世代患者の支援体制の構築をお願いします。
 - (2) 経済面からがん患者とその家族を守るための支援策をお願いします。
4. 予防・早期発見について

●日本医師会へ

1. 地域連携の医療の充実
2. 地域包括ケアの推進
3. チーム医療体制の充実
4. 全人的がん医療の実現へ

●社会へ

1. 「がんは他人ごとではない」がんの早期発見に努めましょう。
2. がんになったことで、社会の中で疎外感に苦しむ患者が多く存在します。偏見、差別をなくし、学校教育などを通して家庭、学校、職場でも理解し合い、不安なく暮らせる社会にしましょう。

●がん患者さんへ

1. 自分のがんについて、正しい情報を得てよく理解し、適切な治療選択ができるよう心がけましょう。
2. がん経験者として、がん体験談や死生観等を積極的に語り、社会の無理解や偏見、死をタブー視する見方を変えていきましょう。
3. がん患者会やがんサロンに積極的に参加しましょう。患者同士が互いに支え合い（ピアサポート）、治療を受けながらも前向きに生活していきましょう。



これからのがん医療が目指すもの
～患者の力をどう活かすか？～

【開催日時】 2017年11月26日(日) 開場:12時 開始:13時 終了:16時(予定)
【開催場所】 東京医科歯科大学 M&D タワー 鈴木栄夫記念講堂(東京都文京区湯島1-5-45)
①各地がん患者サロン等のサテライト会場へ参加
②インターネット放送・ソーシャルネットワークを利用した個人視聴(スマートフォン視聴可)
【参加対象】 がん患者・体験者・家族・医療・福祉関係者・がん医療に関心のある方
【お申込み】 裏面をご覧ください

第1部 13:00～14:50 (12:50より乳がんリハビリ・自己検診「の」の歌体験)
①特別講演:「がんの治療を目指して」 中村祐輔先生(シカゴ大学医学部 教授)
②講演:医師の部:「がん医療における患者力とは」 澤祥幸先生(岐阜市市民病院 がん診療部長)
③講演:患者の部:「患者力を活かした活動報告」
・「生き方を考える活動」を通して見えてきたもの 宮本直治氏(がん患者グループゆずりば 代表)
・「がんのその後の人生設計」 阿南里恵氏(特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会 理事)
④アンケート結果報告 浜中和子(特定非営利活動法人がん患者団体支援機構 理事長)
第2部 シンポジウム「患者の力をどう活かすか」15:00～15:50 コーディネーター:町永俊雄氏(福祉ジャーナリスト)
中村祐輔先生、澤祥幸先生、宮本直治氏、阿南里恵氏、三宅智先生(東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター長)
第3部 アピール文提出(厚生労働省、日本医師会等)16:00 終了

【主催】 特定非営利活動法人がん患者団体支援機構・第13回がん患者大集会実行委員会
(〒154-0002 東京都世田谷区下馬5丁目28番7号)
・東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター

